



天白こじょう会だより

108号 2023/7



発行/天白こじょう会
名古屋市高年大学鯉城学園

<108号目次>

項 目	内 容	報告者	頁
表 紙	アガパンサス（島田公園）	宮前 裕道	1
目 次		—	2
会長挨拶	皆で楽しく明るい天白こじょう会に	小島 明	3
新役員挨拶	行事リーダーに再就任して	市川 正信	
	鯨城会幹事になって初めての挑戦	伊藤 初枝	4
総会報告	4月19日開催	小島 明 青山 博美	4-6
役員会報告	2月～5月	小島 明 青山 博美	6-8
新入会員 （自己紹介）	30期；加藤八重子、31期；新田元廣 34期；加藤真知子、久野清和、後藤康正、坪井徹、若原高生		9-11
活動報告	4年ぶりの総会後の懇親会を開催	市川 正信	12
	「私は大丈夫が一番危ない」を実感 （交通安全講習会に参加して）	市川 正信	12-13
	ポッチャ体験会に参加して	青山 博美	13
	第13回OB文化祭が開催されました	青山 博美	14
	名古屋ウィメンズマラソン2023ボランティアに参加して	戸谷 和代	15
	平針界隈散策と農業センターしだれ梅まつり	青山 博美	16
	わんぱく相撲ボランティアに参加して	青山 博美	17
	御幸山ブロックの令和5年度行事について	佐々山 浩将	
	平針ブロック会だより	西尾 克己	18
行事予定表	7月～11月	—	19
巻 末	短歌	斉藤 昌和	20
	訃報、編集後記他	—	

会長挨拶

皆で楽しく明るい天白こじょう会に

32 期 地域B 小島 明

昨年の春から学園や施設の再開等で各種行事が少しずつ動き出してきました。

今期も会長継続ですが、コロナ禍以後では最大の退会者となり、会員数は 151 名でのスタートです。

しかし、5 月からはコロナ感染も 5 類に移行され、我々の行動範囲も今まで以上に広がり、ウィズコロナの中での行事企画、ボランティア、同好会活動等を積極的に展開する絶好のタイミングとなりました。

幸いコロナ禍対策で活動が休止していた施設訪問もこの春から徐々に再開し、施設担当者との具体的な打合せが始まりました。

また、今期新しく入会された 7 名の皆さんも、天白こじょう会の行事やボランティア、同好会等に積極的に参加され、会としても心強く思っています。

これからも今まで以上に会員同士の連絡を密にし、全員で明るく、楽しい天白こじょう会を目指して行きたいと思います。

どうか会員の皆様のご理解と積極的なご協力をお願いいたします。



新役員挨拶

行事リーダーに再就任して

31 期 地域A 市川 正信

天白こじょう会で、これまで 4 年間何らかの形で行事の役にかかわってきました。その間の 3 年間は、コロナ感染症の影響で開催を中止したり内容を縮小したりせざるを得ない状況が続き、非常に残念に思っていました。

このような中、漸くコロナ感染症が落ち着きを見せ、感染症法上の位置付けが 5 類に移行されると共に行動規制の緩和も進んでいます。「With コロナの日常」が現実味を帯び社会が動き出しています。この機会をとらえ、天白こじょう会の行事もコロナ以前のような活動を取り戻し、会員相互の交流を深めたり生活を楽しんだりしたいと思っています。

今年度の行事のテーマは、「体験活動を取り入れた行事を楽しもう」です。具体的には、5 月は「有松絞体験と有松の街並み散策」、6 月は「和紙の紙漉き体験と松平郷の散策」を計画しました。そして、これらの体験活動で制作した作品を 9 月の「みんなの作品展」と名称を変えた作品展に出展して楽しもうということです。そうすれば減少傾向にあった作品展の展示も賑やかになり、一石二鳥の効果も期待できると考えたからです。

行事は、多くの皆様に参加していただければいただくほど楽しい会になります。皆さんに楽しんでいただけるよう頑張りたいと思います。多くの皆様の参加をお待ちしております。



鯨城会幹事になって初めての挑戦（グラウンドゴルフ交歓会）

31 期 生活B 伊藤 初枝

天白こじょう会に入会し役員になって6年目になります。今期は鯨城会幹事を務めさせていただくことになりました。私は、鯨城会の行事グループでグラウンドゴルフ交歓会を担当することになりました。

グラウンドゴルフは、昭和57年に鳥取県の泊村教育委員会が中心になって考案された、コース上でボールを打ちホールポストに入れるスポーツです。ゴルフと似ていますが、道具やルールが簡単で、どこでも誰でも初心者でも気軽に楽しめます。



私自身は、グラウンドゴルフを見たこともしたこともなかったので、先日友人のチームに参加して体験してみました。ボールが思うように飛ばなかったのですが、とても楽しい時間を過ごしました。

新型コロナウイルス感染症も5月8日から季節性インフルエンザと同じ5類に分類されました。

天白こじょう会と同様、鯨城会も多彩な行事を予定しております。

会員の皆様には是非いろいろな行事にご参加いただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

総会報告

32 期 地域B 小島 明

33 期 地域A 青山 博美

総会 4月19日(水) 10:00～ 天白生涯学習センター・第1集会室 47名出席

1. 開会の辞：(司会) 青山副会長

今年度ご逝去された3名の方のご冥福を祈り、出席者全員で黙祷を捧げた。

2. 会長挨拶：小島会長

昨年度3名の方が亡くなられ、24名の退会者、1名の休会者があった。その代り7名の新入会者があり(他の区では1～2名の所有り)、総会にも5名の方が出席して頂いたのは大変に有難い。今期はウィズ・コロナで気を配りながらの運営となると思うが、行事・ボランティアに積極的にご参加頂きたい。

3. 議長の選任及び各議案の審議

会則に基づき、小島会長を議長に選任し、議案について審議する。

1) 第1号議案：令和4年度事業報告

①総務関係：川上リーダー、②行事関係：市川リーダー、③ボランティア関係：戸谷リーダー

2) 第2号議案：令和4年度決算報告：青山副会長

監査報告：杉山監査役から「正確に会計処理が行われた」ことが報告。

3) 第3号議案：天白こじょう会の会則及び細則の改定：小島会長

・会長、鯨城会幹事の選出基準(卒業年次)が守れなくなっているため。

4) 第4号議案：令和5年度役員（案）：小島会長

- 全体の役割分担表、及び副会長、鯨城会幹事、各リーダーが紹介された。
- 今期から役員会には顧問はメンバー外とし、拡大役員会にご出席頂く。

5) 第5号議案：令和5年度事業計画（案）

①総務G：青山副会長、②行事G：市川リーダー、③ボランティアG：戸谷リーダー

- 行事G：今期のテーマは「みんなで体験」をテーマに、体験型の行事を多く計画したこと。「趣味の作品展」は、皆で敷居を低くし出展されることを目指し、「みんなの作品展」と名称を変更する。
- ボラG：わんぱく相撲が5月28日（日）に決定、鶴舞クリーンキャンペーンが、去年は10月だったのが6月17日（土）になった、施設訪問は感染予防を行いつつ進めたい。

6) 第6号議案：令和5年度予算（案）：青山副会長

- 物価が高騰しているので、支出の増大が見込まれそう。

以上、第1号議案から第6号議案までの案件は全てご承認いただきました。

4. 報告事項：青山副会長

新入会員5名の紹介（2名は欠席）と物故者、退会者の報告。

以上で全ての議題報告と審議が滞りなく終了しました。

☆当日は4年ぶりに懇親会が木曽路八事店で開催され、43名が出席した。



4年振りの新入会員紹介



皆さんのマスクなしの顔も久しぶり!!

役員会報告（R5年2月～R5年5月）

32期 地域B 小島 明

33期 地域A 青山 博美

役員会 2月11日(土) 天白在宅サービスセンター・研修室 19名出席

会 長：政府から「3月13日からマスクは着用なしでもOK。但し個人の判断による」との指針が出た。でも、まだ高齢者が感染した場合のリスクは高い。よって暫くは会議中はマスクの着用をお願いする。

鯨城会：・令和5年度鯨城会会長には、細野博行氏（31期、地域A、昭和区）の留任が決定。
（他に候補者なし。細野氏は4年目となるため、会則を限定運用）

- ・1月20日（金）区会説明会。役員6名、34期生8名が出席
- ・3月9日（木）にOB文化祭。天白からも5名の方が出演予定

総 務：・総会、食事会、会費納入の案内を、本日袋詰めした

行 事：・2月16日（木）学習会「特殊詐欺防止及び交通事故防止について」

- ・3月7日（火）地域散策「平針界限散策と農業センターしだれ梅まつり」新しく見つかった常夜灯などもあり、是非多くの方に参加して欲しい。

ボ ラ：ウィメンズマラソン（3月12日実施）は3月4日に説明会。

ブロック会：平針ブロック会を2月12日（日）に開催予定。

その他：・市川さんから「来期の組織がどうなるのか判らない」という意見に対し、小島会長「役員になり手が少なく、組織作りに苦慮している。早目に案を作成する」との回答。

- ・青山副会長から「連絡委員さんの中で、免許返納等により配達に苦慮されているとの話あり。当面はブロック長さんにお任せしますが、お困りの場合は総務にご連絡を」

拡大役員会 3月11日（土） 天白生涯学習センター・第1集会室 38名出席

＜配布資料：天白こじょう会だより107号／鯨城かわら版R4-3号＞

会 長：マスクの着用については解禁の動きもあるが、高齢者の感染時のリスクは高いので、先月もお願いしたように、大勢が集まる場合は、引き続きマスクの着用をお願いします。

鯨城会：・令和5年度の行事・ボランティアの日程が出された。

・来期も鯨城会の会費は150円／人で行きたい。（来月決定）

⇒会費が300円になった場合、天白こじょう会の会費は増額になるのかとの質問に対し、小島会長から「そのつもりはない」と回答。

学 園：・38期生は定員542名に対し448名が合格。「歴史と文化」クラス以外は追加募集中

総 務：・37期生向け地域ミーティングは6月16日（金）AMを予定。

・天白こじょう会だより107号を本日発行・袋詰めをしました。

・会費の納入状況、退会申し出者の途中経過を報告。

・新規入会者の報告：30期1名、31期1名、34期5名の計7名。

・来期の会議開催予定、及び予想される配布物の一覧表。

行 事：・2月企画、2月16日の学習会には23名が参加

・3月企画、3月7日の平針歴史散策は、好天で23名が参加。（歴遊会案内人5名）

ボ ラ：3月12日のウィメンズマラソンは、担当は瑞穂区北エリア、主に瑞穂運動場西コースの整備と整理。30名が参加予定。

その他：来期の役員構成について（小島会長）

・添付資料により説明。総務G、広報G、行事G、ボランティアGを分ける。

・来期は顧問（ブロック長、愛護会長、同好会長）は役員会メンバーから外し、拡大役員会に出席して頂く。

・個人的に負荷が大きくなりすぎる方、メンバーから一部外して欲しいなどの意向が出て今後小島会長の方で詰める。

来期の事業計画について（小島会長）

・添付資料（小島会長作成の予定（案））により説明。

・行事について市川さんから、①来期テーマを「みんなで体験」とし、実施事項に反映する。②「趣味の作品展」を、皆がもっと気楽に出展できるように、「みんなの作品展」と名称を変更したい。

⇒名称変更については出席者の拍手により承認された。

ブロック会：・平針ブロック（西尾会長）で学習会と懇親会を開催、2月12日（日）、19名が参加。東部地域支援センターの説明をお聞きした後、懇親会を実施。

役員会 5月13日（土） 天白在宅サービスセンター・研修室 24名出席

会 長：コロナが5類となり、鯨城学園ではマスクの義務なしで業務を開始。アクリル板、アルコール消毒液の撤去が行われた。しかし愛知県ではまだ毎日500名近くの新規感染者が出ている。天白こじょう会では以前から申し上げるように自己管理をしっかりと、ウィズコロナの中、活動を広げたい。

34期の各区の鯨城会への加入数は87名。天白は5名を迎えることができた。現在、天白区には37期生が30名、38期生が25名いる。会のイベントにもできるだけ参加し

て貰い、来年以降の入会者を増やしたい。

鯉城会/学園：

- ・広田新副学長が4月から赴任。その前は名東区役所勤務。
- ・顧問は引き続き大谷氏。但し今期一杯とのこと。
- ・37期生向け地域ミーティングは、天白は6月16日（金）に実施予定。

総務：4月11日に宮下勝次氏がご逝去された。（出席者全員で黙祷）。

- ・小島会長から、ご逝去が総会前なので会費はお返ししたいと提案。
⇒出席者の拍手で承認された。よって今期の会員数は151名となる。

広報：・こじょう会だより108号の原稿を募集中だが、まだ投稿が少ない。

- ・HPに、お知らせ・カレンダー・区会誌・区の概要を掲載した。

行事：・5月25日（木）の「有松の町並散策と有松絞体験」25名の参加予定。

- ・6月21日（水）のバスツアー「松平郷・大河ドラマ館と紙漉き体験」
現在27名の申し込み。目標が35名以上なので更に多くの御参加を。

- ・5月13日（土）にセンターまつりの実行委員会。今年は開会セレモニーを実施の方向。
「塗り絵教室」は講師辞退により、子供向けの新たな企画が必要。

ボラ：・5月28日（日）のわんぱく相撲。7名参加予定。

- ・6月3日（土）の天白クリーンウォーキング。原から天白川ピオトープまで。天白こじょう会18名、植田中央公園愛護会16名が参加予定。
- ・6月17日（土）の鶴舞公園クリーンキャンペーン。11名参加予定。
- ・天白区民まつりとウィメンズマラソンにはまだ定員に満たず。追加募集。
- ・6月9日（金）に「ほほえみ」へ久しぶりに施設訪問予定。

その他：・6月6日（火）に植田ブロックがブロック会を開催予定。

- ・緑道清掃に、新入会員2名が参加。（1名は体調不良で欠席）



徳川園の花菖蒲と和傘

新入会員紹介

30 期 地域B/ペーパークラフト 加藤 八重子

30 期生ですがリズム体操には以前から参加しており、今後も続けていくにはと今回入会しました。心身の健康を維持するためには、やはり外に出ることが必要と、リズム体操だけでなく、卓球を楽しんだり、友とお茶したりしています。

こじょう会のイベントやボランティアにも機会を見つけて参加できたらと思っています。宜しくお願いします。



31 期 生活B/フォークソング 新田 元廣

5 年前卒業の時点では鯉城会には入らないと決めていた。忙しくなるのが嫌だったからだ。

10 数年ライフワークとして続けていた平針南コミセンでのうたごえ喫茶(歌の会)がコロナで出来なくなった。少し時間の余裕ができ何かやろうと思っていたそんな矢先、友人から天白こじょう会に太極拳同好会が発足することを聞いた。やってみたいと思った。すぐに友人に頼み込んだ。太極拳は初めてだったが、馬場さん(準師範)の熱心な指導もありすぐに好きになった。また同期もたくさん居たこともありすぐに同好会の雰囲気になじむことができた。太極拳を学ばせて頂きお世話になっているのに鯉城会に入らない選択肢はないと思って入会することにした。コロナがなかったら鯉城会に入ることもなかったかなと思う。

天白こじょう会に入って楽しみにしていることもある。歌うボランティア活動をしたいと思っていた。施設を訪問し皆さんと一緒にうたうボランティアだ。ギターは未熟ですが、楽しく元気に歌える伴奏を目指して勉強し挑戦したいと思っている。天白こじょう会入会をきっかけに新たな社会貢献出来ればと思っています。宜しくお願いします。



ヒトツバタゴ
(なんじゃもんじゃ)
(天白公園)

天白こじょう会に入会させていただきました加藤眞知子です。
名古屋の歴史・文化に興味があり地域 A を専攻しました。クラブは重要文化財研究クラブでした。現在は、仏像に興味があり日本中の国宝仏に会いに行けたらと思っています。



読書好きで年間 70 冊ほど読んでいましたが、コロナ下で家にいる時間が多くなり、ここ 2~3 年は 100 冊ほど読んでいます。面白い本の情報を交換したいです。

地域の鯨城生と交流できることを楽しみにしています。
よろしくお願いいたします。

令和 5 年 4 月新会員の久野清和と申します。天白こじょう会 151 名の一員となれたことをうれしく思います。新型コロナの影響で鯨城学園を 4 年かかって卒業しました。「学ぶ門には友来る」このキャッチフレーズに惹かれ入学しましたが、おかげさまで何人もの友人、グループも出来ました。そして、学びの心に火がついたのかもしれませんが、4 月から愛知シルバーカレッジに入学することとなりました。天白こじょう会は、ブロック、学区ごとに組織され、私の属する植田北学区の会員は 4 名と少ないですが、お近くに 4 名の仲間がいるということは心強い限りです。



私は薬剤師です。69 歳、まだ現役で調剤薬局に勤めております。また天白区内の小中学校で学校薬剤師をしております。現在、天白区地域環境審議会委員を委嘱されております。地域の環境を少しでも良くするよう微力ではありますが努力したいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

<67 年後の再会>

天白こじょう会健康ウォークに参加した時のことです。新入 34 期生は 2 名が参加。総勢 20 名で地下鉄原駅を出発。当日は好天のハイキング日和。会員諸氏とは初対面の仲だったにもかかわらず、すぐに打ちとけることができました。



目的地は相生山徳林寺周辺。下山する道すがら、先達の 1 人が「ここが 24 期生の八木勝男さんのお宅です」とのひとことに、小中学校時代に遊んだ同級生が思い浮かんだのだ。あたかも当人は庭で作業中だったので、思わずこちらから声かけをした。すると「覚えている」との元気な声が返ってきた。奇遇。実に 67 年ぶりの再会。頭の中の走馬燈を見る思いだった。私たち 2 人には確かに記憶があった。別れた後も幼い頃を思い出しながら、ホッカリ気分で歩くことができた。

これからもこのようなビッグサプライズに出会えるように願っています。

讃岐うどんが名産の香川県高松市出身です。就職は名古屋の企業だったので、勤務地は東京、大阪が長く、名古屋に戻ってきたのは 40 代も半ばで今から凡そ 25 年前のことでした。

引退後は会社先輩の勧めもあり、鯉城学園に入学しました。学園生活は途中 2 年間コロナで休校となり、自粛やマスクに象徴される社会全体を包み込む重苦しさ、一方でこの間も、クラブ活動で 20 数回の自主活動を行った楽しい思い出が入り交じる 4 年間でした。

今まで地元とは疎遠で、引退後は地域と何らかの係わりを持ちたいと思い、本会に入会しました。諸先輩の指導を頂きつつ、皆様のお仲間入りが出来ればと思っています。宜しくお願い致します。



まずは余談ですが、私がある所を卒業するとその組織はなくなり新たに出発します。定年退職した会社の組織は横文字の JERA（プロ野球セリーグスポンサー）となり、学園では「地域」と「文化」が「歴史と文化」となりました。天白こじょう会は長島茂雄の名言「不滅」でありたいものですね。

私は本年後期高齢者「あぁいやだ」となりましたが、その前と年金額・保険負担金等も変わらず、私の気持ちも変わらず、現在変化なしです。学園では 34 期はコロナのため先輩方が経験できない 4 年も在籍し、その分同級生とは太い絆（我がクラスはコロナ禍でも退学者は少なく、卒業後は同級生との日帰り旅行等を実施…5 月にバス 1 台で伊勢神宮へ）で結ばれています。

鯉城会入会の理由は学園では太極拳クラブに所属した関係から天白こじょう会が前年から太極拳同好会が活動されていることを知ったことが一番です（正直なところ役員・ボランティア活動よりも心を動かされた）。現在は天白こじょう会とクラブ OB 会で週 2 回の稽古を下手の横好きで行っています（太極拳に出会ったのが年齢的におそく、コロナ禍のため昇段審査をパスしたため、段位をめざさず、楽しく＆健康をめざします）。

趣味は年齢とともに変遷しており、若い時は「Work & Night Wander（夜遊び）」、その後「Ski & Fishing（コロナ禍のため長年のニセコスキーと石垣島釣りは中断し、今年再度 Try 予定）」がかわり、現在は「Grow Vegetables（平子橋近隣に 40 坪強の借農地で野菜栽培を実施。今年は玉葱と馬鈴薯の収穫を終え、ナス、ショウガ、キュウリ、トウガラシ等を栽培中。野菜栽培も既に 10 年となりました）」にも手を広げています。

最後に、時間が許す範囲でこじょう会の運営にも携わりたいと思っていますので、ご指導のほどよろしくお願いします。



4年ぶりの総会後の懇親会を開催

31期 地域A 市川 正信

前回は2019年の4月に開催したわけですから、今回は実に4年ぶりの開催になるわけです。この間は、コロナ感染症の影響で、懇親会の開催を中止せざるを状況が続き非常に残念に思っていました。ところが今年の2月ころになるとコロナ新規感染者数の減少傾向が進み、5月からは感染症法の分類が5類に移行する運びとなりました。こうした状況を踏まえ役員会で懇親会開催の可否を話し合った結果「木曽路八事店」での開催を決定しました。

総会と懇親会会場は離れていますが、総会会場の生涯学習センターへ送迎バスが迎えに来てくれるサービスがあり、移動のわずらわしさを感じることもありませんでした。参加者43名。会場に着くなり「久しぶりだねえ」「元気だった？」等々の挨拶や互いの近況報告を交わし談笑する姿があちこちで見られました。

会は、青山副会長の司会で進められ、終始なごやかに進められました。新会員で参加していただいた4名の方も皆さんの中に自然と入れ、話し込み絆を深めていました。こうした和気あいあいとした雰囲気を大切した天白こじょう会をこれからも進めていきたいと思った会でもありました。



「私は大丈夫が一番危ない」を実感（交通安全講習会に参加して）

31期 地域A 市川 正信

2月16日（木）に在宅サービスセンター研修室にて「特殊詐欺の手口と対策・高齢者の交通事故防止」の研修会を行いました。参加者23名。講師として、天白警察署生活安全課及び交通課の係長に来ていただきました。

研修会では、特殊詐欺の種類の話から始まり、被害額や被害件数の推移の説明があった後、架空料金詐欺をモデルにしたビデオを視聴しました。

「ネットの視聴代金が未納になっているので明日までに納入しないと訴訟事件になる。」との設定で作られたビデオで、犯人グループの巧妙な話しぶりにのせられてしまう内容でした。特殊詐欺の対応としてよく言われるように「電話でのお金の話は詐欺です」の言葉を頭に入れ、電話対応する必要性を強く感じました。また、固定電話は留守電設定にすることが詐欺防止に役立つことを強調してお話されました。



交通事故対策として、ヘルメット着用の努力義務化・自転車による事故の多さを話され、我々高齢者が乗る際、注意するよう呼びかけられました。

この研修を通して周りから情報を得たり、周りに助けてもらったり、周りに注意を払ったりしながら生活することが特殊詐欺や交通事故に遭わないことに繋がると思いました。



ボッチャ体験会に参加して

33期 地域A 青山 博美

2月22日（水）に行われた、ボッチャの体験会に参加しました。ボッチャはパラリンピックですっかりお馴染みになりましたが、身障者が行う競技と言うイメージがあると思います。しかし東京パラリンピック以来、高齢者を中心に競技人口が増え、名古屋市内でも鯉城会の多くの区で同好会が発足しています。

「天白区でも」との声があり、この度原の在宅サービスセンターで無料貸し出し用の道具と会場をお借りすることができたことから、体験会を開催する運びとなりました。

当日は13名の会員と34期生の方1名が参加し、障害者スポーツセンターの桑野氏から基本的なゲームのやり方の説明を頂き、続いてゲーム形式で簡易的ですが競技の進め方を体験しました。実際にやってみて、見た目よりも難しく本格的に行うとなかなか奥が深いと感じました。実はゲーム体験中の写真を撮らねばならなかったのですが、ゲームに集中する余り撮影をすっかり忘れるほどでした。天白区でも同好会を作り、是非とも仲間を集めて楽しみたいと思いました。



ニセアカシア
(天白公園)

第13回OB文化祭が開催されました

33期 地域A 青山 博美

コロナで中断していたOB文化祭が、3月9日(木)に4年ぶりに鯉城ホールで開催されました。コロナ期間中に練習ができなかったり、人数が減って出場を断念したチームもあったそうですが9クラブ・同好会の皆さんが、日頃の練習の成果を発表されました。社交ダンス、詩吟、フラダンス、オカリナ、コーラス、太極拳、民謡、ハーモニカと多彩な出し物でした。時間は各出し物20分なので、メンバーの多い所は途中で出演者を入れ替えたり、苦心のプログラム編成でした。

天白こじょう会からは、社交ダンスに奥村恵子さんと伊藤雅子さん、詩吟に八木勝男さん、太極拳に馬場興樹さんと川上茂雄さん、民謡に戸谷和代さんが出演されました。

他の出し物にもクラスメイトが出演したりと、自分は見ているだけでしたが、楽しい1日でした。



戸谷和代さん



八木勝男さん



名古屋ウィメンズマラソン 2023 ボランティアに参加して

32期 陶芸 戸谷 和代

3月12日（日）曇りときどき晴れ、街路樹のこぶしの花が満開の好天気の中、瑞穂運動場西口ENEOS前、集合時間の8時15分前にメンバー全員集合！そろいのオレンジウェアと帽子を身に着けた30名で、瑞穂区北エリア11kmあたりの復路のコース整理と仮設トイレ誘導を担当しました。

3月4日にユニフォームなどの配布、3区間とトイレ誘導別に担当配置場所を各リーダーから説明実施。

予定通りにコーンやコーンバー等機材を設置、9時30分にスタンバイ、沿道のコース整理を完了しました。トイレ誘導は一時3列に並ぶ大混雑でした。

ウィメンズマラソン最初の集団の中に、「ゼッケンNo.1」の鈴木亜由子選手を見つけホットしながら、「最後まで頑張って！」とTV中継車に背を向けつつ横目で応援しました。

今年は観戦制限がなくなったこともあり沿道から多くの声援が送られ、後からスタートした往路の一般ランナーからも 鈴木選手達の集団に、すれ違い時『亜由ちゃん』コールの大声援がありました。

鈴木選手は、結果2位となり、自己記録更新・パリ代表選考会出場権を獲得しました。

ウィメンズマラソン（20,000人）、車いすのホイールチェアマラソン、10Kmハーフマラソン（8,300人）とマラソンフェスティバルDAYでした。

12時30分前には撤去も無事に終了し、希望者はランチ会場へ向かいました。日中はマラソン・夜はWBC応援と、スポーツ観戦満喫の楽しい一日でした。

来年度もボランティア活動参加宜しくおねがいします。



平針界限散策と農業センターしだれ梅まつり

33期 地域A 青山 博美

2年連続でコロナのために中止となっていたイベントですが、遂に実施することができました。3月7日(火)は好天に恵まれ、絶好の歩行会日和でした。

9時45分、地下鉄原駅に会員23名が集合して、天白区の歴遊会5名の方に農業センターまでご案内頂きました。コースは江戸時代に駿河街道と呼ばれた道を歩きました。この道は家康の命に依り、西側の豊臣の軍勢が名古屋城に迫った時、東側から名古屋に軍を速やかに進めるために東海道の宇頭(岡崎と安城の境辺り)から、今は豊田市の堤と平針に宿場を設け、名古屋城下の駿河町へ繋がる道とのこと。最初は軍用道路だったが、天下泰平の後は北三河から伊那地方を結ぶ物流(塩など)と信仰(熱田・伊勢)の道となった。今は街道の面影を残すものは少ないが、原の交差点には道標となるお地蔵様がある。また、明治から昭和初期までは平針は物流の拠点で、京土(黄色の壁の仕上げ材)・磨き砂・亜炭などが近くから採取され、それらの取引に人が集まり、宿屋、劇場、映画館などの遊興場や商店も街道沿いに多くあった。それらについて説明を受けながら街道から慈眼寺、針名神社を經由し、農業センターに入りました。

農業センターのしだれ梅はまさしく見頃で、多くの人でにぎわっていました。地元の歴史などにも触れられた楽しい1日でした。

農業センターは改修中で、動物などはすでに移転しており、それが残念だったが、来春にはリニューアルされた施設が見られるものと期待します。



わんぱく相撲ボランティアに参加して

33期 地域A 青山 博美

5月28日(日)に、青年会議所主催の「わんぱく相撲・天白区予選」にボランティアとして6名で参加しました。と言いたいのですが、今回は昨年のように手空きの子供達対象のポッチャなども実施されず、活動としては子供たちが手形をうちわに押すのをお手伝いする程度でした。

「わんぱく相撲」自体は、小学生の男女が約30名参加し、大相撲顔負け?と思えるほどの熱戦が繰り広げられ、なかなか面白い予選会でしたが、如何せんやることがない。来年は主催者側に、本当にボランティアの必要性はあるのかを良く確認して参加の有無を決めたいと考えます。当日ご参加いただいた皆様、誠に申し訳ありませんでした。



御幸山ブロックの令和5年度行事について

29期 生活A 佐々山 浩将

ブロック会会員の皆様、如何お過ごしでしょうか?

コロナ禍も完全収束とはいかないまでも、感染者の数も減少し警戒感がかなり薄くなった今日この頃です。

新型コロナの感染症法上の分類も2類から5類へと規制が緩和され“インフルエンザ”と同等の扱いに、引き下げられました。

そんな中、当ブロック会としましては、コロナ以前の状況に早く戻すべく、今年度は2~3回位例会や食事会を実施したいと思っております。

その都度ご案内をいたしますので、その節は宜しくお願い致します。

現在予定しておりますのは、下記の通りです。

案1: 6月末~7月初め、市内の施設見学+食事会

案2: 10月末~11月、観光地(食事含む)

案3: 令和6年2月頃、食事会



平針ブロック会だより

28期 地域 西尾 克己

令和5年2月12日（日）、第23回平針ブロック会を開催しました。半年ぶりの再会ですが、みな変わりに元気でおいでできたことがなによりです。19名が参加者しました。



第一部は、旧平針公民館で「聞いておきたい いきいき支援センターのお話し」と題し、天白区東部いきいき支援センターの橋本センター長から、高齢者を対象に様々な面から支援している実情を、また赤尾さんからは認知症について語っていただきました。

支援センターとは高齢者が地域で安心して生活できるよう保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員などの複数の専門職がチームとなって、健康・福祉・介護など様々な面から支援する機関・相談窓口です。よくある相談の一例を紹介しますと「①一人暮らしで今後不安、老人ホームについて教えて」、「②親族が近くにいないので、自分になにかあったらどうしたらいいか」、「③ディサービスを利用したいがどうしたらいいか」、「④自分の親・配偶者が入院し、退院後の介護について聞きたい」、「⑤自身の認知症のことを聞きたい」など、65歳以上の方々へのなんでも相談窓口です。お話をお聞きして、どんなことでも気軽に尋ねてみるのが大切だと感じました。

エリアごとに担当を分けており、地下鉄 原ターミナルビル3Fは平針ブロック・植田ブロックを担当（809-5555）。原・高坂・しまだ・相生学区は分室が担当（808-5400）で、それ以外の大坪・表山・天白・野並・八事東・山根は西部センターが担当（839-3663）している。

第二部は、赤池の寿司御殿で懇親会です。乾杯の音頭を前ブロック長の25期谷田耕三さんをお願いし、会食を始めました。谷田さんは環境学科で現在も堀川の環境活動に取り組んでおられます。次回のブロック会で「私（谷田さん）と堀川との関わり（仮題）」をお話しいただくお願いをしました。また、参加者の自己紹介・近況報告などで楽しい時を過ごすことができました。

次のブロック会でも元気なみなさんとお会いできることを楽しみにしております。



桔梗
（農業センター）



講話中の風景

行事予定表（7月～11月） ＊6月末時点での予定です。変更・中止にご注意下さい。

行 事		実 施 予 定 日 ・ 時 間 等					場 所	担当者 (令和5年度)	
		7月	8月	9月	10月	11月			
役員会		7(金) 13:00 袋詰・リーダー	12(土) 13:30 役員会	9(土) 13:30 役員会	7(土) 13:30 役員会	10(金) 13:00 袋詰・リーダー	天白在宅 サービス センター、 生涯学習 センター、 他	小島 明 青山博美	
拡大役員会・総会		拡大 8(土) 13:30～				拡大 11(土) 13:30～			
広 報 こじょう会だより ホームページ更新		8(土) 108号				11(土) 109号		川上茂雄	
		随時							
行 事				23・24 みんなの 作品展	31(火) 地域巡り (常滑)			市川正信	
鯨城会関連行事				(日程未定) 心の絆創膏	18(水) グ ラウドゴルフ	16(木) 16区フェス			
				(日程未定) 公開講演会		18(土) 堀川清掃			
ボ ラ ン テ ィ ア 活 動	植田中央公園 愛護会	毎月第1,3土曜日 (雨天の場合翌日)					9～10時	植田中央公園	坂井詔男
	戸笠公園愛護会	毎月第3土曜日 (雨天の場合翌日)					9～10時	戸笠公園	杉山元浩
	天白川緑道清掃	毎月第2金曜日 (雨天の場合翌週、1・8月は休み)					9～10時	天白区役所	豊田悦造
	天白公園第4愛護会	毎月第4土曜日 (雨天の場合翌日)					9～10時	天白公園	水野正弘
	第三街路樹愛護会	毎月第3土曜日 (雨天の場合翌週、1・8月は休み)					9～10時	植田公園	小山良太
	施 設 訪 問	調整中						あしたの丘	戸谷和代
18(火)		調整しつつ実施				13:30～15時	特養ほほえみ		
イベント応援(先方からの連絡待ち)						寿荘			
同 好 会	グラウンド ゴルフ	毎週木曜日					9～12時	植田中央公園	林口 強
		毎週金曜日						天白公園	
	リズム体操 クラブ	毎月1、2、4 の月曜日 (祝日や講師の都合で変更あり)					10～11:30	平針新公民館	斉藤昌和
	カラオケ同好会	毎月第1月曜日					14～16時	ジャパ・ルンカ カー/天白	綿貫幸夫
	天天会(食事会)	毎月20日					16～18時	てんぐ大 ホール原	西かす彗
	アウトドア会	(未定)							斉藤昌和
	史 跡 散 策	(未定)							佐治 學
	パソコン研究会	毎月第1、2、3月曜日					13:30～15:30	生涯学習 センター	金丸正美
	囲碁同好会	毎月第3水曜日					13～16:30	原コミセン	西尾克己
	健康ウォーク	毎月第1水曜日						地下鉄原駅 9:30集合	水野正弘
	麻雀同好会	毎月第1木曜日					13～17時	八事東 コミセン	佐々山浩将
	太極拳同好会	毎月3回、金曜日					13:30～15:30	原コミセン	馬場興樹

短歌 4 首

26 期 国際 斉藤 昌和

- ・ 野に住みて貧しくあれど卑にあらず 鷺の如くに強くもなくて
- ・ 日ごろから絶えず多くの「愛の種」 蒔く必要を古典で見つく
- ・ 暴君に切なる願い三つあり 停戦平和侵略やめる事なり
- ・ 富士山を仰ぐその先他国にて ミサイル飛べる空を憂うる

〈訃報〉

宮下 勝次 さん

天白ブロック 28 期 文化 A

4 月にご逝去されました。

第22代会長として会の発展に貢献されました。

謹んでお悔やみ申し上げます。

〈訃報〉

井熊 重義 さん

南天白ブロック 30 期 健康 A

5 月にご逝去されました。

南天白ブロック長としてまた広報リーダーとして会の発展に貢献されました。

謹んでお悔やみ申し上げます。

〈編集後記〉

108 号の発行に向けた作業を始めたところ、突然井熊重義さんの訃報が飛び込んできました。2 年前に突然広報リーダーをお受けすることになり、会報誌作成など全くの素人の私が何とかここまでやって来られたのは、井熊さんのようなベテランの方々編集スタッフとして後押しして頂いた結果です。昨年から体調不良とのことでお会いする機会が減り心配していましたが、残念な結果になってしまいました。奇しくも前号の表紙「天白川」が最後の投稿写真になりました。この場をお借りして心からお悔やみ申し上げます。

新しい年度に入り「With コロナの日常」が徐々に浸透してきました。当会も 4 月には 34 期生 5 名を含む 7 名の新会員を迎え、令和 5 年度総会と 4 年振りの懇親会を開催しました。こじょう会活動にも明るい展望が広がりつつあります。「明るく・楽しく・元気よく」心と体のバランスがとれた健康長寿を目指して頑張りましょう。

広報リーダー 川上 茂雄



ダリア（農業センター）

〈編集スタッフ〉

発行責任者	小島 明
広報リーダー	川上 茂雄
編集委員	宮前 裕道 福永 時継
	遠藤 信子 青山 博美
	久野 清和 若原 高生